



JAゆうべつ町



KAGAYAKU TSUBASA

輝く翼

湧別町の空に飛ぶ白鳥を見た時、私は素敵だなと感動しました。「JA ゆうべつ町」が飛躍する事を願い、群れをつくり大空に羽ばたく真っ白な白鳥の様に、気持ちを新たに一致団結して前へ大きく前進する願いを込めてデザインのイメージをしました。そして皆さんが愛読するにあたって、優しく温かい気持ちになれる様にと虹の橋を架けました。先頭を飛ぶ真ん中の白鳥にはリーダーと言う意味があり、冠をつけてみました。

謹賀新年



今年もよろしくお願ひ致します。

2023.1 vol.208

令和5年度

新年にあたり

湧別町農業協同組合

代表理事組合長 上田 範幸



新年あけましておめでとうござい
います。組合員の皆様はじめ、ご
家族の皆様には、令和5年の新春
を迎え、謹んでお慶び申し上げま
す。

昨年を振り返りますと、コロナ
感染拡大が依然と収まらず、さら
にロシアによるウクライナ侵略に
より、急速な円安進行となり、飼
料及び生産資材等の高騰、年度途
中での個体価格の異常な下落とな
り、組合員皆様方には今まで経験
したことがないことと感じていま
す。

当農協における生産状況は、若
干1番牧草の収穫が遅れたこと、
てん菜は平年以上の生産量でした
が糖分は平年より低い結果となり
ました。しかし秋の収穫は天候に

恵まれ、作物全体としては、自然
災害も少なく平年並みに生産でき
た年となりました。

酪農については、昨年に続き年
度当初からの生乳生産抑制を組合
員の皆様にご協力いただき進めて
参りました。その中で、少しでも
生乳生産抑制を緩和するため乳製
品消費拡大として、農協及び㈱A
コープゆづべつでは、全町民への
牛乳券・バター配布、イベントで
の乳製品の販売、スタンドでは牛
乳配布等を行って参りました。今
後も、組合員様の動向を見ながら
計画的な生乳生産を進めます。
コントラ事業については、コン
トラ部会と組合員皆様方の御理解
とご協力の結果、大きな事故もな
く無事に作業を終えることができ
ました。

哺育センターは、全ての工事が
令和4年3月に完成し全施設が稼
働しています。しかし、導入計画
の6割程度の利用率となっていま
すが、哺育センターの利点を説明
しながら計画的な事業運営をして
参ります。

今年度は、樹立した第5次「農

業振興計画」「JA中期計画」の
実施年の始まりとなりますので、
組合員一斉訪問を実施し、多くの
意見を頂戴しながらポジティブな
方向で、計画の実現に向け役職員
一丸で進めて参ります。

㈱Aコープゆづべつにおいて、
人員確保ができず営業時間の短縮
等で利用者の皆様へご迷惑をお掛
けし申し訳ありませんでした。現
在は人員を確保し体制を整えてい
ますので今後も変わらぬご利用を
よろしくお願い致します。

本年度は癸卯（みずのとう）年
です。言い伝えでは、兎は穏やか
で温厚な性質から「家内安全」、
また、その飛躍する姿から「飛躍
」「向上」「植物の生長」と言われま
すので、新しいことに挑戦するに
は最適な年と思われれます。皆様も
先が不透明で不安な時代ですが、
何かに挑戦する気持ちを持ち、家
族の安全を常に意識しながら良い
お年をお過ごしください。
本年が豊穡の年となりますよう
御祈願申し上げ年頭のご挨拶とい
たします。

謹賀新年

湧別町農業協同組合

代表理事組合長

副組合長

理事

上田 範幸

佐藤 茂

菊地 厚

柴田 勉

多田 智弘

岳上 智弘

加藤 勇

栗田 淳

小幡 敏

服部 智紀

加藤 誠一

北谷 昭一

辻 香澄

職員 一同

齊藤 浩一

吉田 誠

黒田 将樹

山田 雄二

中原 秋美

長岡みどり

羽田 由希

樋口 聖哉

北谷 隼人

石田 恭兵

石田 恭兵

石田 恭兵

石田 恭兵

令和5年度

新年にあたり

北海道農業協同組合中央会
代表理事組合長 小野寺 俊幸



新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、
日々営農に更に邁進されておられ
ることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げます。
上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、6月の降雹、8月の記録的な大雨、9月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありました。が、収穫作業は総じて順調に進み、

天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAGグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっております。

JAGグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年、第30回JAG北海道大会の実践2年度目となります。決議された将来ビジョンである、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力あ

る地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAGグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国消国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んで参りましょう。

結びになります。本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、またその跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穰の年となること、新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

酪農生産部会

部長 植田 光

副部長 三澤 実

副部長 山田 和弘

畑作生産部会

部長 井上 豊

副部長 佐藤 輝美

副部長 友澤 直樹

湧別町麦生産組合

部長 渡辺 豊

副部長 栗田 淳

副部長 北谷 昭一

コントラ事業推進部会

部長 小野 信一

副部長 竹中 享司

副部長 本間 義輝

湧別町ホルスタイン改良同志会

部長 菅井 慎也

副部長 上田 和成

湧別町農協青色申告会

部長 畑 亮一

副部長 羽田 孝弘

湧別町酪農ヘルパー利用組合

部長 山崎 伸司

副部長 竹中 享司

湧別町乳牛検定組合

部長 島田 宗央

副部長 羽田 孝弘

新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター

遠軽支所支所長 小川 那彦



新年明けましておめでとうございます。令和5年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

農業者、関係機関の皆様には平素より農業改良普及事業の推進に對しまして深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年の気象経過を振り返りますと、4月から5月にかけては気温が高く推移したことから、融雪期はほぼ平年並みでした。6月に入り気温はやや低くなりましたが、7月以降は再び気温が高くなり、4月から10月までの積算気温では平年比105%でした。降水量につきましては、4月から5月にかけて降水量は少なく6月、8月にやや多い傾向でした。4月から

10月までの積算降水量は平年比97%でした。

湧別町の農作物の作況を振り返りますと秋まき小麦は、起生期から止葉期までの生育は順調で、平年よりもやや早く推移しました。7月以降の好天により登熟が進み、収穫作業は平年よりも早く進みました。子実収量は平年よりも高く、歩留まりも高くなりました。縞萎縮病の発生が多く、赤さび病、赤カビ病の発生は平年並みでした。

てんさいの移植、直播栽培のは種作業は順調に進み、出芽も良好でした。7月から9月の気温が高く推移したことから、根部肥大も進みました。収穫作業は平年より早く終えました。収量は平年より多かったものの、糖分は平年を下回る結果となりました。

飼料用とうもろこしについては、は種時期は好天に恵まれ、は種作業は順調に進みました。5月から6月にかけての低温で生育が停滞したものの、7月以降の高温で回復し、その後の生育は順調に推移しました。子実の登熟も進み、

収穫作業はほぼ平年で終了しました。生収量、TDN収量ともに平年を上回る結果となりました。

牧草（1番草）の生育は平年並みに推移し、収穫作業もほぼ平年並みに終わりましたが、収量は平年をやや下回りました。2番草については高温と適度な降雨により順調に生育し、収量は平年を上回りました。年間を通して平年並みの収量を確保することができました。

今年は長期化する新型コロナウイルス感染症による影響に加え、ロシアによるウクライナ侵攻により肥料や飼料価格の高騰・品不足、光熱費の上昇、個体販売価格の低迷、さらに円安による物価の値上げラッシュが続き、農業経営にとってこれまでに経験したことのない不安な状況が続いています。また、経営所得安定対策の単価の見直し、てんさい糖の国内産糖交付金の削減、生乳生産数量減など、厳しい経営環境が当面続く状況にあります。

今後農業経営を継続していくに当たって、土壌分析による施肥改

善、堆肥・尿の有効活用、輪作体系の見直し、乳質・乳成分の向上、良質自給飼料の確保など、経営内部の基本的な技術の確認と改善により、経費の節減と所得を確保していくことが重要になってきます。

普及センターとしても生産者や関係機関の皆様と連携し、経営の安定と地域農業振興に向けた取組を積極的に進めてまいります。

最後になりますが、今年の豊稔の秋とご家族の皆様のご健勝をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



営農計画協議が始まる

12月7日から12月19日まで湧別町農協本所及び支所にて、令和5年度営農計画書を作成いたしました。

営農計画協議では、組合員の皆様が作成した営農計画書をもとに、職員が経営分析し、本年の収支に反映・改善を目的として行われています。一年間の営農に向け、各担当職員と真剣な面持ちで協議が行われました。

皆様方の計画を上回る年を迎えることができますよう、ご祈願いたします。



▲協議の様子

感謝を込めて 80歳記念品贈呈

12月7日、上田組合長と小幡参事は、これまで湧別町の農業振興と発展にご尽力いただいた、満80歳（昭和17年生まれ）の方々に感謝の気持ちを込めて個別に訪問し記念品の贈呈を行いました。
記念品の贈呈者は左記の通りです。（敬称略）



▲記念品贈呈の様子

小関 信宏（東第三農事組合）
 築部 勇次（中央農事組合）
 黒田 時子（大地農事組合）
 島田 雅子（芭露第一農事組合）
 多田 昭子（芭露第一農事組合）
 上田 一義（新上芭露農事組合）

若い農業者の皆さん! 自分の老後自分で守れますか?

農業者年金なら…

- 保険料は自由に選べる!
(2万円～6万7千円、千円単位)
さらに、35歳未満であれば、
1万円からでも加入可能!
- 認定農業者で青色申告者等には、
国庫補助で手厚い支援!
1万円の自己負担で
2万円の積立てが実現!
- 自ら支払った保険料は、
全額社会保険料控除の対象!
その他にも、**税制面で優遇措置がある!**

※農業者年金に加入できる方の要件は以下の通りです。

- ・年間60日以上農業に従事している方で、
- ・国民年金第1号被保険者（60歳未満）又は、国民年金の任意加入者（60歳以上65歳未満）

※詳しくは、お近くの農業委員会、又はJAへ!



若い
今こそ年金
アクション!

詳しくは… 農業者年金基金 検索

<https://www.nounen.go.jp>

JA共済 JAの自動車共済 フリーダイヤル安心サービスのご案内

ご契約の自動車が事故や故障に見舞われたときは

ご契約のJA(業務時間内)もしくは フリーダイヤル 安心サービス 24時間・365日対応	事故等の場合には JA共済事故受付センター ジコはクミアイ 0120-258-931
レッカー移動や 故障時の応急対応が 必要な場合には JA共済サポートセンター レッカーロードサービスはクミアイ 0120-063-931	

フリーダイヤル 携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

電話料金は無料です。公衆電話につきましては、電話をおかけになる時の10円は必要ですが、かけ終わると戻ります。

JA共済の安心サービス

1. レッカーサービス

現場から100km以内のけん引が無料！
クレーン作業などの難作業も5万円(税込)まで
JA共済が負担します。

事故または故障により自力走行不能となった場合に、レッカー車で現場へ急行し、最寄の修理工場等までお車をけん引します。横転、路外逸脱等による難作業も対応します。



2. ロードサービス

30分程度で対応可能な
応急対応が無料！

故障・ガス欠等により自力走行不能となった場合に、修理業者が現場へ急行し、お車の応急修理を行います。



事前にJAまたはJA共済サポートセンター(JA共済事故受付センター)に要請された場合に本サービスの対象となります。(ご利用者さまの意思に反して、または物理的に不可能であった場合を除き、ご自身で工場等へ直接手配された場合は本サービスの対象外となります。)

※トラブルの状況や手配内容によっては、ご利用者さまに費用のご負担が発生する場合があります。
 ※ロードサービスについて、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用、部品代・オイル代・ガソリン代等の実費は、サービスご利用者さまのご負担になります。
 ※JAF会員であるご利用者さまについては、ご利用者さまのご了承のもと、JA共済事故受付センターまたはJA共済サポートセンターからJAFを手配する場合があります。その場合、レッカーサービスのけん引距離については現場から115キロまでのけん引に要する費用をサービス対象範囲とします。ロードサービスの作業時間については30分程度で対応可能な応急対応に要する費用に加え、30分を超過した場合の超過時間に応じた作業にかかる費用について5,000円を限度にサービス対象範囲とします。

3. 夜間休日 現場急行サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、対応員が事故現場に急行し、事故状況の聞き取りなどを行います。



※本サービスの受付時間は、平日：17時～23時、土日・祝日：8時～23時です。
 ※事故現場からお電話いただき、ご利用者さまが現場急行をご希望された事故が対象となります。
 ※原則として、対応員の出勤地点から事故現場まで30分程度で到着できることが条件となります。ただし高速道路上等一部の場所は本サービスの対象外となります。
 ※JA共済より業務委託を受けたALSOKの対応員が急行します。

4. 夜間休日 初期対応サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、初期対応専任のスタッフがご利用者さまからの相談対応や相手方への迅速な対応(事故受付の連絡・修理工場への連絡・代車の手配等)を行います。

※本サービスの受付時間は、平日：17時～21時(対応は22時まで)、土日・祝日：9時～21時(対応は22時まで)です。
 ※対人賠償事故(人身傷害事故含む)、対物賠償事故、車両賠償費用保障特約の付いた車両単独事故が対象となります。
 ※ご契約内容が確認できない場合、既にご加入先のJAの損害調査スタッフが対応中である場合等、本サービスを実施できない場合があります。

5. 休日契約者 面談サービス

JAの営業時間外にJA共済事故受付センター(フリーダイヤル)へご連絡いただいた事故について、休日面談専任のスタッフがご利用者さまを訪問し事故に関するご質問・ご相談に親身におこたえします。

※本サービスの受付時間は、金曜・祝前日：17時～0時、土曜・終日、日曜・祝日：0時～17時です。
 ※対人賠償事故で、事故の相手方が入院または死亡された場合が対象となります。
 ※JA共済より、業務委託を受けた休日面談専任のスタッフが対応します。

24時間・365日、事故受付とアドバイス、各種サービスが受けられます。

■各種サービス共通の注意事項(サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。)
 ※交通事情、気象状況等により、サービス業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。
 ※本資料は各種サービスに関するすべての内容を記載しているものではありません。サービスのご利用条件・提供範囲など、詳細については「ご契約のしおり・約款」等をご参照ください。
 18015228011